

平成29年6月15日

長与町議会
議長 内村 博法

研修報告書

長与町議会議員研修要綱第7条の2の規定により、次のとおり公表します。

1. 研修名（主催者） 市町村議会議員研修
「住民とのコミュニケーション
～対話と受発信力の向上～」
2. 研 修 日 時 平成29年4月20日～4月21日（2日間）
3. 研 修 先 全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）
4. 研 修 目 的 議員の資質向上及び議会の活性化に資するため
5. 研 修 参 加 者 饗庭 敦子議員
6. 所 見

コミュニケーションには3つの役割、①理解を増やす②人間関係に影響を与える③信頼関係を築くことである。人間関係に対する影響度は言語コミュニケーションより非言語コミュニケーションがより大きい。基本はフェイス・トゥ・フェイスである。

またコーチングの基本を学んだ。その中で質問する場合に、相手が答えやすいように「ヒーロー・インタビュー」を行った。すべての人がその人なりにヒーローになるそれをどう捉えて伝えるかである。こういうインタビュー形式で住民のご意見等をお聞きし政策の反映することもできると思った。

会報誌作成ポイントとして

- ①目的は何か
- ②HP、ブログ、FBとの連携

③文字は少なめにして、ビジュアル系で表す。例えば漫画など

④住民の顔、住民の声を掲載する

⑤プロの活用、デザインなど

以上の事を議会だよりも活用していきたいと思った。

デザインでは、世代にあったデザインが必要で芸大など大学生と連携をとると双方にメリットがあると思う。今後は柔軟な考え方で住民の意見を取り入れたりして身近な議会だと思って頂けるよう、研修を活かしていきたいと思う。この研修は参加型で、一方向でなく双方向で楽しく有意義に学ぶことができた。